



青木の風

生きる 創る そして輝く

学校だより 11 月号

令和4年 10月 31日
横浜市立青木小学校

行事を通して成長する子どもたち

校長 永野 美雄

今年度のスポーツフェスティバル（スポフェス）でのお子さんの姿はいかがでしたでしょうか。学校では、日ごろの授業に加え、年間に様々な行事を配置して子どもたちの力を引き出せるようにしています。行事には儀式的、文化的、健康安全・体育的、遠足・宿泊的、勤労生産・奉仕的な活動があり、スポフェスは体育的行事の代表格です。体育的な集団活動を通して心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成すること、また、運動に親しみ、楽しさを味わえるようにするとともに体力の向上を図ることをねらいとしています。

スポフェスは、各学年8時間の練習割り当ての中で準備を進めてきました。その割り当ての大部分を団体演技の練習に費やしました。職員室や校長室から子どもたちの練習の様子を見てみると、練習ごとに動きが整っていくのがはっきり分かり、青木小学校の子どもたちの能力の高さを感じます。リズムに乗って生き生きと踊る子どもたちの姿に引き寄せられるように校庭に出て、称賛の拍手を贈ったこともあります。子どもたちは誇らしげな表情で応えていました。子どもたちの上達ぶりを見ていて、10月に入ってから早くご家族の方に見てもらいたい思いでいっぱいでした。待ちに待った当日は、1、2年生の愛らしさに、3、4年生のかっこよさに、そして5、6年生の迫力に心を奪われました。保護者の皆さんもお子さんの姿に心を打たれたのではないのでしょうか。子どもたちの一生懸命な姿には、大人の気持ちを揺さぶる力があると毎回思います。

演技や競技の他にも、スポフェスでは5、6年生が各種のプロジェクトチームを組み、マスコットやスローガン、プログラム、立て看板の作成や、応援団、放送、ラジオ体操、開閉会式の運営を担当しました。これらも限られた時間の中で準備を進めていきましたが、子どもたちは本番に照準を合わせ見事に仕上げていきました。演技と同様、子どもたちの底力を感じました。

熱い思いで臨んだスポフェスは子どもたちを一回り成長させる機会となったと感じています。皆で協力して一つの目標に向かうことの大切さを学んだり、演技や徒競走を通して全力を尽くすことの尊さを実感したり、プロジェクト活動を通して自分の役割を果たすことの重さとやりがいを感じたりと、子どもたちの振り返りを読むと、一人ひとりが大事なことをつかみ取り、自分の成長へと繋げていることが分かります。

後期は遠足やスケート教室、3年生の区音楽会、4年生の宿泊体験学習、青木フェスティバルなどこれからも行事が控えています。今回のスポフェスの演技と同じように、様々な行事を経験するごとに子どもたちが成長する感覚が我々にはあります。今後も行事に際しては事前指導を丁寧に行い、事後に認め言葉がたくさん掛けるようにして、自信を深めていけるように心がけたいと思います。